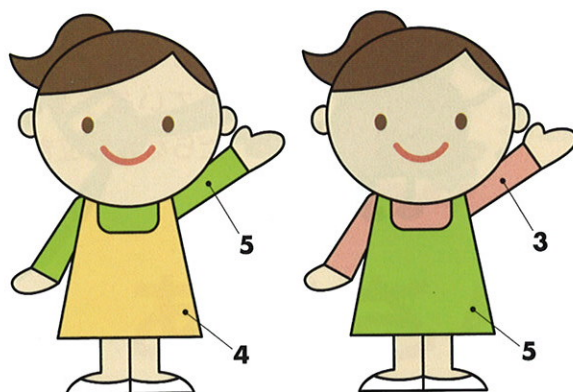


肌色タイプ別 保育者のためのカラーコーディネート

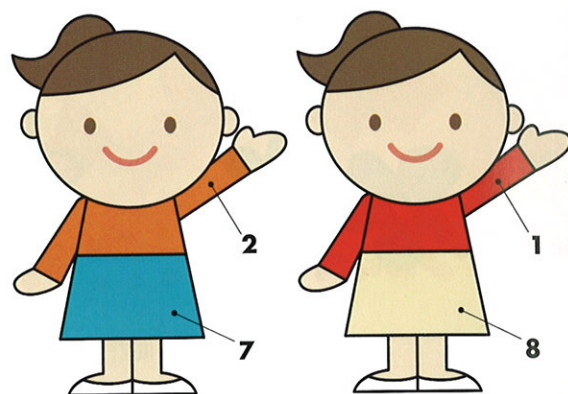
ウォーム
タイプ

●エプロンとの組み合わせ●



卵色・黄緑で明るく親しみやすい印象に

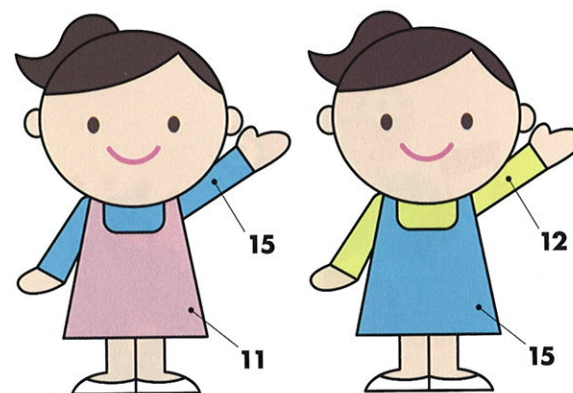
●上下の服の組み合わせ●



オレンジ・朱色でいきいきと元気な印象に

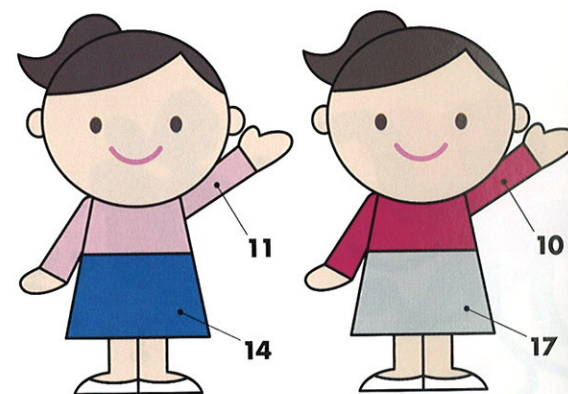
クール
タイプ

●エプロンとの組み合わせ●



空色・レモンイエローでさわやかな印象に

●上下の服の組み合わせ●



パステルピンク・真紅でやさしい印象に

肌色タイプ別 似合う色

ウォーム
タイプ

1 朱色	2 オレンジ	3 サーマンピンク
4 卵色	5 黄緑	6 緑
7 水色	8 ベージュ	9 茶色

クール
タイプ

10 真紅	11 パステルピンク	12 レモンイエロー
13 青緑	14 青	15 空色
16 紫	17 灰色	18 紺色

保育カラー
コーディネート
ゼミナール

01

似合う色で先生の好感度アップ！

子どもに好かれるカラーコーディネート

(有)ラピス代表取締役
カラーイメージコンサルタント
花岡ふみよ

子どもの第一印象は、出会いからわずか7〜30秒で決まると言われています。五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）のうち、ものを認識するのは視覚が87%を占めるというデータもあります。また、「色」と「形」とでは「色」が先に目につきやすく印象に残ります。大人はもちろんなこと、幼児は特に色のイメージで見る人の印象を決めています。子どもに好かれる色と好感を与えるカラーコーディネートを知り、園児とのコミュニケーションを円滑にしましょう。

子どもは、視覚が未発達なため、ぼやけた暗い色より明るくハッキリした色を好む傾向があります。保育園・幼稚園の保育士や先生が園内で着るウェア、エプロンの色は赤、黄、オレンジ、ピンク、黄緑、水色などがおすすめです。

ただし、人によって似合う色は異なり、ピンクで印象がよくなる人もいればオレンジが似合う人もいます。肌色が明るく健康的に見える、表情が生き生きする色がベストカラー。顔色が悪く不健康そうに見える、怖い表情に見える、するのはパッドカラーです。子どもたちには元気で明るい先生に見られたいものです。

ベストカラー発見！

では、自分のベストカラーを見つける簡単な方法をご紹介します。似合う色は、肌色の特徴でほぼ決まります（上図参照）。肌色に黄みが多いか少ないかによって、似合う色は大きくふたつのグループに分かれます。肌色が黄色っぽい人（ウォームタイプ）は、黄色を多く含んだ暖かい色（ウォームカラー）が似合い、肌色に黄みが少ない人（クールタイプ）は、青みを多く含んだ涼しい色（クールカラー）が似合います。

【ウォームタイプ】
黄みの多いベージュ・オークル系の肌
◎似合う色
朱色・オレンジ・サーモンピンク・卵色・黄緑・緑・水色・ベージュ・茶色
（クールタイプ）
黄みの少ないナチュラル・ピンク系の肌
◎似合う色
真紅・パステルピンク・レモンイエロー・青緑・青・空色・紫・灰色・紺色

口紅でコーラルピンク（オレンジがかったピンク）とローズピンク（紫みのピンク）のどちらが肌なじみがいいかを自分でチェックしてみましょう。これで自分の肌色タイプがわかります。ウォームカラー同士、クールカラー同士など、同じカラーグループの色はコーディネート性の相性が良く、どれと組み合わせてもきれいです。違うグループの色を組み合わせるのはミスマッチ。センスの悪いカラーコーディネートになってしまいます。

※ウォームタイプ・クールタイプ、ウォームカラー・クールカラーの考え方やカラーサンプルは「パーソナルカラーシステム（アメリカ生まれの似合う色分析）」に基づいたものです。